

オンライン
シンポジウム

きょうと地域創生府民会議協賛事業

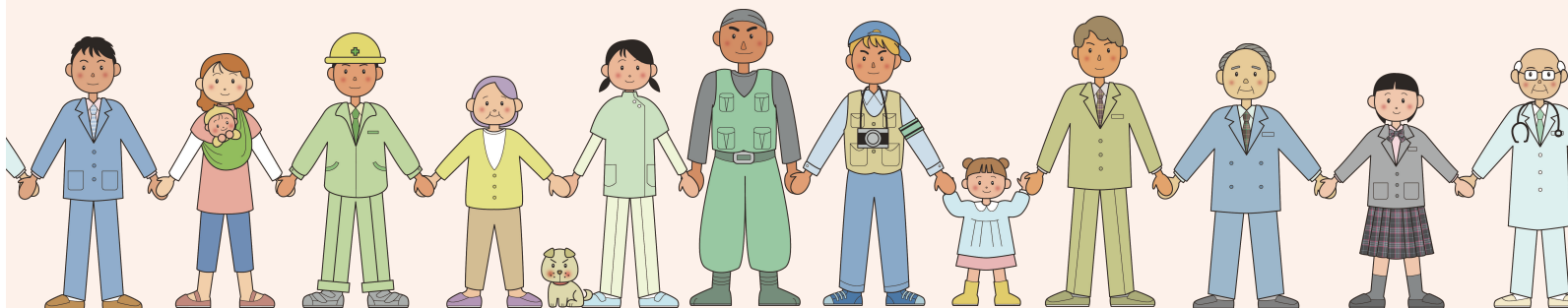


- ひと声かけて支え合う -

災害時連携 NPO 等ネットワーク

いま、『避難』を考える

避難現場での支援と助け合いのあり方



2/18 sat 14:00 ~ 16:30 参加無料

「災害時連携 NPO 等ネットワーク」は自然災害による被害が京都府内で発生した場合、府内で社会課題の解決や公益性を担って活躍している非営利組織（NPO 法人、自治組織、経済団体等）が有する専門性や経験を活かし、連携することで「特別なニーズ」をもった被災者への支援及び NPO 等の相互支援を行うことができるよう関係団体との繋がりを持ち、支援ノウハウの習得や人材育成、情報交換等を行うことを目的として活動しています。

今回のシンポジウムでは、京都市におけるウクライナからの避難者の現状に関する基調報告を行います。そこから、日本での自然災害における「避難」とは何かを NPO 法人や大学教員など様々な立場からディスカッションを行い、災害等が多発する日本でどう避難するのか、どう避難を支援していくのか考えるきっかけを提供します。

CONTENT

基調報告

ウクライナからの避難 - 京都市での取組事例

シンポジウム

いま、『避難』を考える—避難現場での支援と助け合いのあり方

当シンポジウムは、オンライン（Zoom による配信）にて開催いたします。

お申込方法など、詳しくは次頁以降をご覧ください。

主催 災害時連携 NPO 等ネットワーク

協力 京都府災害ボランティアセンター、京都市災害ボランティアセンター

14 : 00~

開会

Zoom 入室開始 : 13 : 45

14 : 05~

基調報告

ウクライナからの避難 - 京都市での取組事例



大久保 将史さん 京都市総合企画局 国際交流・共生推進室 共生推進担当課長

立命館大学経済学部卒業。平成 11 年 4 月京都市役所入庁。文化市民局元離宮二条城事務所事業担当課長を経て、令和 4 年 4 月から現職。現在は、多文化共生社会の実現や、外国籍市民の人権問題などを担当。また、姉妹都市であるウクライナ・キーウ市との関わりから、市国際交流協会等と連携してウクライナ避難者への支援を実施しており、その中心的役割を果たしている。

15 : 00~

シンポジウム

いま、『避難』を考える—避難現場での支援と助け合い



シンポジスト



牧 紀男

災害時連携 NPO 等ネットワーク 会長 / 京都大学防災研究所 教授



林 リエさん

京都発・ママたちによる福島子ども応援プロジェクト ミンナソラノシタ 代表



小谷 智恵さん

社会福祉士 / 認定特定非営利活動法人 FaSoLabo 京都 理事・創設者



コーディネータ



平尾 剛之

災害時連携 NPO 等ネットワーク 副会長 / 特定非営利活動法人きょうと NPO センター 常務理事・統括責任者

16 : 30

閉会

お申込方法

参加
無料

以下の「申込 Web フォーム」からお申込みください。
受付終了後、当日で参加いただく際の URL をメールにてご案内いたします。

<https://hitokoe-npo.jp/?p=3077>

スマートフォンなどで右の二次元コードを読み込むと、簡単に
申込 Web フォームが設置された Web ページを開くことができます。



お問合せ先

災害時連携 NPO 等ネットワーク運営事務局

京都府 政策企画部 地域政策室 府民協働係内

TEL 075-414-4452 FAX 075-414-4230 Mail contact@hitokoe-npo.jp

- ひと声かけて支え合う -

災害時連携 NPO 等ネットワーク

<https://hitokoe-npo.jp>

「災害時連携 NPO 等ネットワーク」は自然災害による被害が京都府内で発生した場合、府内で社会課題の解決や公益性を担って活躍している非営利組織（NPO 法人、自治組織、経済団体等）が有する専門性や経験を活かし、連携することで「特別なニーズ」をもった被災者への支援及び NPO 等の相互支援を行うことができるよう関係団体との繋がりを持ち、支援ノウハウの習得や人材育成、情報交換等を行うことを目的として活動しています。